

あ・し・た

いする んじる のしむ

第 15 号



発行元：宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会

TEL：0940-37-4100(宗像市ボランティアセンター)

第 41 回 ボラ連 総会

今年度の総会は令和 7 年 4 月 23 日(水)にメイトム宗像 101 会議室で行われました。
会員総数 154 人のうち出席者 24 人、委任状 107 通(合計 131 人)でした。

「ねこのて」が退会して加盟団体は 10 グループとなりました。

総会後の交流会には、20 人が参加してトークフォークダンスで盛り上がりました。



内部研修

救え！大切な命♥ 救急救命講座



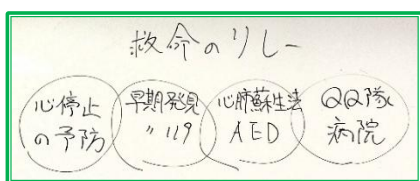
7 月 16 日(火)メイトム宗像健診室にて、宗像地区消防本部より 6 人を講師としてお招きし、【救急救命講座】を開催しました。参加者は 17 人でした。当日は消防車と救急車に乗って来場してくださいましたが、「もしも出動要請が出たときには、この講座を中止して現場に直行しなければならない」という話から始まり、「宗像・福津地区の消防署で保有している救急車は 6 台」「1 日当たりの救急出動要請は約 25 件」「救急出動要請を受けてから現場に到着するまでは平均 9 分」など現在の救急救命の実情を聞き、参加者からは驚きの声が上がりました。人形を使って実際に心肺蘇生法を体験したり、AED の使用法を学びました。



参加者からは「詳しく教えていただき有意義な体験になった」「一度だけでは忘れてしまうかもしれないのでこれからも定期的に講座を受けたい」という感想が寄せられました。幸いにも緊急出動要請はなく 2 時間の講座は最後まで無事に開催できましたが、大切な命を救うために日々奮闘してくださっている救急隊員さん達に、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。



②



イケメン救急隊員①
真剣に心肺蘇生法体験②と
AED の使用法について学ぶ③
資料「救え!大切な命♥」④



③



④



役員研修



手話ミュージカル鑑賞



『ドロシーと星の道しるべ』

6月22日（日）福岡ろう劇団博多主催・『オズの魔法使い』を元にしたミュージカルが、福岡城南市民センターにて上演されました。字幕があったり、歌のタイミングを合わせるため、足でドンという合図を出したり、補聴器ユーザーに耳障りでないよう手のひらをはためかせて拍手したり、お芝居のすばらしさに加え、様々な工夫にも感動しました。ボラ連40周年記念行事で演奏された森和田さんが音楽を担当されました。

『ドロシーと星の道しるべ』は気付かないことに気付かせてくれる、たくさんの人に見てほしいミュージカルでした。

劇団員さんと記念写真



活動紹介



WAKUWAKU オレンジカフェ ～ジュニボラへ協力

オレンジカフェ

福祉ボランティア にじいろぽけっと



ジュニアボランティアスクールは小学4年から中学1年の20人の希望者が、子ども福祉員になるための3日間のプログラムです。昨年大好評だったため、今年も7月31日（木）にオレンジカフェが開催されました。

にじいろぽけっとは前日の準備、当日は飲み物係として協力しました。子ども達は、会場設営、受付、案内、配膳、お話相手、ゲームの説明と大忙しでした。102人の参加があり、WAKUWAKU オレンジカフェは大成功でした。にじいろぽけっとも子ども達から感謝状を贈られ、うれしい活動となりました。



地域活動に人形劇と穏やかな時間を届ける



人形劇 こやぎ座

6月4日（水）日の里8丁目公民館で人形劇こやぎ座が活動。日の里8丁目福祉会のお招きがあり、こやぎ座のメンバーは5人、くまモンの『黒田節』から始まり、ハンドベルで『ふじの山』『茶摘み』を観客と一緒に演奏、絵本からキャンディが出てくるマジック等が行われました。人形劇の『アルゴリズム体操』の時には、「これは子どもが喜ぶね」「大人も喜んでるわよ」という会話も聞こえてきて、なごやかな楽しいひと時となりました。

ハンドベル演奏中



祝！50周年 記念イベントのお知らせ

手話サークル「シュワッチ」

日時：2025年10月12日（日）13：00～ 開場：12：15～

場所：日本赤十字九州看護大学 オーヴァルホール（宗像市アスティ1丁目1番地）

内容：福岡ろう劇団博多『オズの国へ』&トークショー

*多くの皆様のご来場をお待ちしております。

